

谷口まさのり

所沢市政レポート

2017年9月議会編

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111/FAX：04-2941-5112

メール：tani.eco@dream.ocn.ne.jp

FB、Twitter更新中!『谷口まさのり』で検索下さい!



子どもにツケを
残さない!

9月議会等の動き

- 市内大学の外国人留学生と連携してのインバウンド(訪日外国人旅行者)戦略を提言!
- 東京圏での『狭山丘陵ロングトレイル(歩く旅)』構想を提言!
- 自然エネルギーを含む、『地域新電力(自治体電力)』構想の実現へ、一歩前進!

↓出来るだけコストをかけない、工夫した手法を提言!

市内大学の外国人留学生と連携した、外国人目線での観光資源発掘と情報発信の取り組みを!

2016年の、日本へ来る外国人旅行者が2,400万人を超え、国内での消費額が3.7兆円(日本の自動車部品産業の海外への輸出金額を超えたと言われております。)の経済効果をもたらした、インバウンド関連産業。所沢市への今後の(株)KADOKAWA進出(アニメコンテンツを持つ)や東京圏から近い狭山丘陵や狭山湖を含む、市内の豊かな自然や狭山茶等の日本文化を発信できる貴重な観光資源は将来の『稼ぐ力』になる!との視点から以下質問(提言)を行いました。(要旨)



←谷口: 今まで所沢市でインバウンド(訪日外国人旅行者)関連で、どのような取り組みを行ってきたか?

担当部長: 英語表記の観光ガイドブックの作成、昨年度は中国・台湾・韓国の3名の外国人ブロガーの方に市内の観光スポットや文化財、所沢のグルメを案内し、それぞれの視点から情報発信をして頂いた。



また今年度は外国人観光客受入整備事業として、訪日外国人向けの旅行商品を企画・販売する(国内の)担当者を招き、所沢市の観光スポットを案内することで、専門的な意見を頂き、海外からの観光客誘致につなげることを目的とした『訪日旅行取扱会社招へいモニターツアー』を実施する予定である。



市内大学には現在100名を超える外国人留学生が在籍している。そこで、コストをそれ程かけないやり方ということで、毎年度一定の人数を募り、市役所の大型ライトバンを利用し、市職員が市内の従来からの観光スポットを案内、そして、それ以外のスポットで留学生が興味関心を持っている(持った)場所にも立ち寄る時間を確保しながらのミニツアー(食事、懇談の時間を十分取りながら)を行い、新たな観光資源発掘に協力、SNSで発信をして頂く。こうした、今後のインバウンド戦略への参考となる情報収集を含めた取り組みを行ってはいかがか?

その他、現在の婚活事業の発展型として、25歳の同窓会を提言！

担当部長：市内に大学が立地する所沢市ならではの取り組みで、外国への直接的な情報発信が可能となるだけでなく、外国の若い世代の貴重な意見を取り入れることに繋がると考える為、積極的に検討していきたい。

（インバウンドの位置づけだけではない）
『狭山丘陵ロングトレイル(歩く旅)』構想を提言！

 『ロングトレイル』という言葉は最近では『歩く旅を楽しむ為に作られた道』という概念で使われているようである。国内ではロングトレイル協会に登録しているコースが18コースある。そこで、(狭山丘陵を観光資源としての更なる有効活用への視点から)
①狭山丘陵を観光資源として、狭山丘陵を囲む東京都側の自治体を含む全ての自治体で連携した取り組みについて聞きたい。
②また所沢市や入間市だけではなく、東京都側の自治体、つまりは東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町を含めて、狭山丘陵全体を囲む地域資源をインバウンドに限らず、『東京圏での狭山丘陵ロングトレイ

ル(歩く旅)』構想と名付け、自然を満喫、文化財やその他の観光スポットを巡りながら、宿泊、食事を楽しめるよう、観光戦略として(連携して)進めていってはどうか？

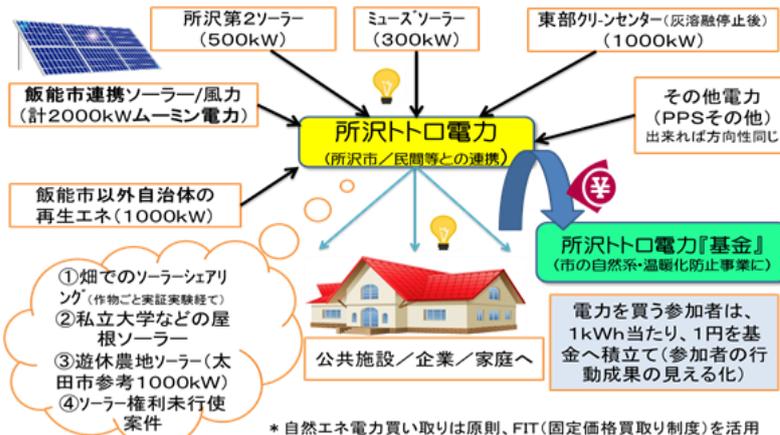
担当部長：①今年6月に狭山丘陵の東京側の(瑞穂町以外の)東村山市、東大和市、武蔵村山市、西武・狭山丘陵パートナーズの4者で『狭山丘陵観光連携事業推進協議会』が設立され、平成30年度には、具体的な観光プランを作成、平成31年度には、同プランに基づくイベント開催やガイドブック作成等が予定されている。所沢市、入間市にも連携の打診を頂いており、所沢市として、同協議会で実施している、調査の為にフィールドワークにオブザーバーとして参加している。
②『ロングトレイル』構想については、観光面以外に健康志向や生涯スポーツにも広がる可能性がある取組と考え、狭山丘陵観光連携事業推進協議会へも、狭山丘陵のグリーンツーリズムを含めて、魅力的な連携イベントについて、様々な提案を行っていきたい。

私、谷口まさのりは、今後も地域の観光資源を未来に活かす提言に取り組んで参ります！

昨年6月に提言した、自然エネルギー推進を含む、『地域新電力(自治体電力)』構想に向けて、一歩前進！

昨年6月議会で提言した上記構想ですが、今年8月1日付けで、「地域新電力事業について、更に多角的に検討を行うこと」を目的に、『(仮称)所沢新電力設立研究会』を所沢市、アーバンエナジー(株)、飯能信用金庫を当初のメンバーとして立ち上げ、今後メンバーを増やしなが、事業の枠組みや損益計算、事業リスク分析等の検討を進めていくことが、所沢市より発表されました。今後の展開が期待されます！

所沢トロ電力構想



↑上記パネルを使い、昨年6月議会で提言

谷口まさのり プロフィール

- ◆昭和40年 北海道生まれ(留萌市)
- ◆埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業
- ◆環境や省エネ企業に15年間在籍・1997年の『地球温暖化防止 京都会議』に参加
- ◆2011年4月所沢市議選に初当選、現在2期目
- ◆趣味等：スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カラオケ、カブトムシ採り、大のビール党、日課はメダカのエサやり◆環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)/認知症サポーター

『始発男』『始発の谷口』と呼ばれております。

駅では原則、始発前からレポートを配布しております。

